

昭和五十八年三月二十五日発行

# 会報

第十五号

社団法人・岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

## 医療関係業務従事者の概況

昭和 56 年 12 月 31 日現在

種 別	届出総数	人口 10 万人に対する比
医 師	1 6 2, 8 8 2 人	1 3 8. 2 人
歯 科 医 師	5 6, 8 4 1 人	4 8. 2 人
薬 劑 師	1 2 0, 4 4 4 人	1 0 2. 2 人
あん摩マッサージ指圧師	8 2, 0 6 0 人	6 9. 5 人
はり 師	4 8, 7 7 2 人	4 1. 3 人
きゅう 師	4 7, 3 1 6 人	4 0. 1 人
柔道整復師	1 4, 0 5 6 人	1 1. 9 人
理学療法士	3, 0 4 5 人	2. 6 人
作業療法士	1, 0 8 9 人	0. 9 人
看護 婦	2 6 6, 7 4 5 人	2 2 6 人
准看護 婦	2 5 1, 3 5 2 人	2 1 2. 9 人

広告

高級皮革製品のオーダー専門メーカー

(ハンドバッグ・鞆・ベルト

・靴・その他各種)

(株) 東京富士商会

営業担当 小倉定男

本社 東京都葛飾区南水元 4 - 2 4 - 4

TEL 03 (600) 4741・03 (609) 0660

.....サービスは万全です.....

# 会報 第十五号 目次 (題字「会報」は石川理事長筆)

あいさつ	理事長 石川 文治	1
昭和五十七年度県鍼灸師会 日誌 (事務局編集)		1
昭和五十七年度県鍼灸師会 会員調査表 (昭和五十七年十二月末日現在)		3
昭和五十七年度県鍼灸師会定期総会		5
昭和五十七年度東鍼連総会 (山形大会) 報告	事業部長 越本 政男	8
岩手県保険鍼灸マッサージ師会 昭和五十七年度の動き		11
レポート 日東医学会 東京大会に参加して	副理事長 越本 政男	13
学術講演会 (五十七年十月十六・十七日)		14
全鍼師会情報		15
釜石師会三十年の歩み	釜石師会会長 越本 政男	15
師会だより・盛岡・花巻・北上・和賀・胆江・宮古・釜石		20
全国標準 (マッサージ) 施術料金表		27
編集後記		30

## あいさつ

会員の皆様には健康にて三療に御精励のこととお慶び申し上げます。

五十七年度を顧みますと労災保険の認可が八月二十八日になったことだと思えます。これも一時危ぶまれていましたが団結の力で乗り切った感じであります。これにより保険の問題も一歩前進したかの感がありましたが業界の再編の「あおり」を受けて中央ですっきりしない点があり、前途遼遠の様であります。

東北ブロック会長会議が九月二十五日仙台市の「くりはらホテル」で関野全鍼師会長出席のもと五県の会長が出席 (秋田県欠席)。関野会長より八月十一日開催の中央再編協と九月八日の中央再編協のお話を頂き、後、六県のいろいろの問題について話し合いました。

つづいて全鍼師会師会会長会議は、十月二日午前十時より四谷の全鍼師会会館であり、先の中央再編協の報告を受け、石川理事長、渋谷副理事長出席、今後の全鍼師会の方向について協議されました。

総会に提案されました各市町村単位国保の療養費委任払いの請願の件は、岩保会との関連もあり、次年度以降の課題になりますが、スモン患者の取り扱い、交通事故等の後療法としての鍼灸マッサージは、医師の同意書なしで傷害保険の適用になりますので、大いに活用して頂きたいと思えます。

次に、新年早々の常務理事会で話が出ました研修会の件ですが、各自持ち寄りで各症候別に徹底研修をやりたいと思っております。皆様これなら自信があるという治療法を各自お持ちだと思えます。それを出し合って研修して行きたい考えであります。

十二月八日付けで試験委員に猪ノ口富蔵氏と下佐征昭氏が任命されました。



理事長 石川 文治

## 昭和五十七年度 県鍼灸師会日誌 (事務局編集)



盛岡	49	15	1 (1)	40	7	2	11	38	3	
花巻	17	6	2 (2)	17	×		5	12	2	
北上・和賀	15	6	1 (1)	15	×		3	12	3	
胆江	27	8	2 (1)	22	5		9	18	2	
一関	14	1	2 (0)	14	×		4	10	2	
東磐	4	0		4	×		0	4	1	
気仙	9	1		9	×		2	7	1	
遠野	3	0		3	×		0	3	1	
釜石	12	4	1 (1)	11	1		4	8	0	
宮古	19	6		19	×		8	11	1	
久慈	5	1		5	×		0	5	0	
県北	12	1		12	×		3	9	0	
累計	186	49	9 (6)	171	13	2	49	137	16	

- 3 -

## 五七年度 定期総会 八年振りに沿岸の大槌町で開催

昭和五七年度鍼灸師会の定期総会が五月八日（土）午後一時三〇分より沿岸の大槌町の浪板観光ホテルに於いて開催された。四十九年五月に沿岸の久慈市で開催されて以来八年振りの沿岸地区の開催となった。総会当日・翌日とも五月晴れに恵まれた。

総会終了後には懇親会が開催され日本でも数少ない浪板海岸の片瀬波の潮騒を聞きながら海の幸に溢れた料理に地酒を汲み交わし、夜の更けるまで歓談した。

なお、この総会の準備は釜石師会が当番と



ホテル行きのバスに乗車する会員（大槌駅前）

なり行った。なお、後日料理が良かった。  
従業員の皆さんがとても親切でよかった等の  
声が多く好評だった。

- 4 -



懇親会



歓迎のために特別出演の釜石師会員の「お嬢さん」

## 昭和五七年度 定期総会 議事録

日 時 昭和五十七年五月八日（土）午後一時三〇分

会 場 上閉伊郡大槌町浪板 浪板観光ホテル

出 席 一五九名（委任状提出九二名、当日出席六七名）

欠席三七名、進行係の下佐常務理事より、出席多数なので総会が成立する旨を宣言。

1. 開会の辞 三沢五郎常務理事
2. 理事長挨拶 理事長 石川文治
3. 歓迎の辞 釜石師会長・副理事長  
越本政男
4. 議長選出の件

進行係よりどのように致しましょうかと、  
会員に諮った結果、執行部一任との要望に  
より、執行部で協議の結果、加藤敏勝理事  
を推薦満場これを承認、加藤氏議長席に登



挨拶する石川理事長・渋川（中）・越本（右）両副理事長

- 5 -

壇し就任のあいさつのあと、直ちに議事に入る。

## 5. 議 事

第一号議案 昭和五六年度各部会報告について承認を求めるの件

1. 庶務報告 常務理事・総務部長  
下佐征昭
2. 事業報告 副理事長・事業部長  
越本政男
3. 日本マッサージ師会の結成についての経過報告  
副理事長・会計部長  
渋川澄意

本県でも日マ会結成について反対の意志を貫き通して来たが、盲協・日鍼会・本会の三者の協議会を設置協議を行って来たが、本会としては、今後も日マ会については絶対反対してゆく旨を強調した。

4. 早稲田鍼灸専門学校あん摩科増設の件

副理事長 渋川澄意  
全鍼師会・理教連などの反対運動の正当性が厚生当局に認められ、早稲田鍼灸専門学校の「あん摩マッサージ科」の増設は阻止されたが、この増設に賛同した村谷日盲連・日マ会会長の意図するものは、全鍼師会を弱体化させようとする処にある。従って私達は日マ会には絶対加入したくないことを強調した。更にこのあと理事長より、東北ブロック師会長会議、主として日マ会問題についての報告あり。



左から2人目・加藤議長・右隣は下佐総務部長



総会に参加の会員

- 6 -

5. 保険部報告 理事長 石川文治  
イ、昭和五六年度日保連の経過について  
ロ、昭和五六年度岩保連の経過について  
ハ、水沢市議会で療養費給付払いに関する件が採択され、保険外老人治療に関する件が継続審議となった件について  
ニ、山形市、古川氏の二市が保険外



総会に参加の会員

老人治療を実施した件について

6. 東鍼連昭和五十六年度総会・福島大会報告

副理事長・事業部長

越本政男

以上、報告を終了質疑に入り、佐々木吉男氏より、全鍼師会の名称の中に「指圧」がない、これは早急に指圧の名称を入れるべきだと全鍼師会に申し入れよと要望、大野六男・佐々木吉男の両氏は遅々として進展せぬ保険問題に不満を表明。

これに対し、理事長と渋川副理事長より複雑怪奇な業界の確執・日保連の現状について説明した。

また、野沢孝一氏は、東鍼連大会に、もっと多数が参加すべき事を強調、事業部長からも東鍼連大会への参加を更に要望。

これにて質疑を終了。報告どおり満場承認する。

第二号議案 昭和五十六年度決算報告

会計部長 渋川澄意、監事の鞠子栄氏より監査報告あり。

野沢孝一氏が、監事は会計を監査するのみでなく、会務全般を監査出来る法的根拠があり、常務理事会に参加させるべきだと主張。これに対し、渋川副理事長は、監事は総会で決議された事項を執行部が処理出来ているか否かを監査すると言う法的権限を有している以上、執行機関の一人となったとしたら、若し執行部に過ちが生じた際に、これを監査するとなると矛盾が生ずると、ツッパねながらも、理事会等や総会にお出でを頂き、監事に対しては発言の制約もいたさず、審議参加を頂いて居りますと答弁する。渋川氏報告どおり承認される。

第三号議案 昭和五十七年度事業計画案の件

越本事業部長、提案説明、原案通り可決

第四号議案 昭和五十七年度予算案の件

- 7 -

渋川会計部長、提案説明、原案通り可決

第五号議案 療養費給付払いならびに保険外老人治療に関する件

理事長 石川文治

療養費給付払いの制度を積極的に活用するために、また保険外老人治療を実施するために、各師会が、各市町村議会に請願採択を求める積極的な運動を起こして頂きたいと提案理由を理事長説明。また、手続きの方法等についても説明あり、異議なく可決となる。

第六号議案 日マ会不参加再確認の件

副理事長 渋川澄意

今後共、尚本会としては、日マ会「日本マッサージ師会」には、絶対に加入しない。但し個人で入会することまでは拒まないということについて、ここで再確認の決議を頂きたい旨、渋川氏提案理由を説明。渋川氏提案通り承認可決される。

第七号議案 昭和五十九年度定期総会開催地の件

一関師会が開催を快諾、一関開催を決定。

これにて議事一切終了議長の加藤氏退任挨拶、降壇。

6. 閉会の辞 三沢五郎常務理事 閉会、午後四時。

議事録記録人 越本政男

議事録署名人 二名 上田博也 佐々木至



## 昭和五七年度東鍼連総会（山形大会）報告

事業部長 越本政男

日 時 6月13日（日）午後1時（曇天・むし暑し）

会 場 山形市蔵王温泉・ホテル蔵王に於いて

出席者数 169人（本会からは15人）午前11時より師会長会議、石川理事長出席・越本政男・多田兼雄の両氏が代議員となる。

総会は定刻より30分近く遅れて開会となる。この日は全鍼師会の阪本副会長（東京都師会会長）が来賓として出席した。

総会は山形県師会副会長の浅野武氏の司会により開会され、開会宣言のあと秋葉山形県師会長が歓迎の辞を川村会長が挨拶をそれぞれ述べ、阪本全鍼師会副会長が挨拶、来賓祝辞（山形県選出代議士、県会議員等は定刻に揃わず、本人または代理人が会議中に来場して）祝辞を述べた。その他、山形県医師会長祝辞・祝電披露があり、議長団の選出に入り、山形・秋田から議長団就任挨拶・記録人及び署名人を決め、議事に入った。

### 議 事

議事は56年度事業・決算報告を承認し、続いて57年度の事業並びに予算案を可決。

事業計画案を川村会長説明。

要旨…東鍼連の会員数は1,100名を超えた。これは東京都師会の会員数に匹敵する数である。

- 8 -

吾々の東鍼連は小さい団体ではない、大いに団結して、事に当たろう。

次に、九月二十六日に学術講習会を開催する。講師は全鍼師会会長の関野先生、併せて研究発表も行なう。宮城県が行なうもので東鍼連から助成金は頂かない。名義を借りるだけ、各県もこのような催しを東鍼連の名で行なってもよい。会員の学術向上を進めて欲しい。

### 質疑応答

・5,000円の会費で、今後やってゆけるのか、値上げしなくてもやっていけるのか。

答…現在のところ必要ない。日マ会問題についての質問に対して、川村会長は東鍼連会長としてではなく、宮城の一師会長として、現在も今後も日マ会について絶対反対である。これは全鍼師会を日盲連と日鍼会が弱体化しようとするためのものである。盲人が鍼灸の発展を、阻害するというが、杉山和市先生をはじめとして、医学博士を得ている立派な盲人もいるではないか、という答弁に対して、日盲連は決して鍼が盲人の適職でないとっていない。過ぎ去った日マ会を云々するよりも、大きくなった全鍼師会を発展させ強力にする可きである。

答…川村会長…私は、日盲連が鍼灸師として不適格である等とはっていない、日鍼会が言っていると申し上げた。

続いて秋田の福土氏が、日盲連は鍼灸が盲人の適職ではないとっていないが、決議した事と行動が一致せぬ処に問題があるのだ。日マ結成についても、日鍼会は、日盲連は吾々の仲間だと言っているが、やがては捨てられる時が来る。そこで吾々は日鍼会の人よりも社会に歓迎されるように学び団結する可きだと言う意見が述べられた。このあと各県師会の情勢報告が行なわれた。

青森…二日間に亘り盲学校の教師を迎え夏期講座を行った。健保取扱いについての研究、労災について労基局と打合わせ中。弘前市に鍼灸専門学校設立申請書が知事に提出された段階でこれをツブすことが出来た。

秋田…学術講習会の開催（年二回）、奉仕活動（年二回）、日マ会の結成（師会から一名も入会せず）、日盲・日鍼両者



県鍼灸師会の情勢を報告する石川理事長  
右隣は秋田県師会長

- 9 -

で結成したが混迷の運営になりつつある。労災協定の話し合いに入っている。

岩手…昨年の五月十日に創立四〇周年記念祝賀式典の挙行、会報を発行して創立四〇周年を特集する。学術講習会の開催、奉仕活動。

山形…再編協の話合いがつかず、日マ会結成せず、労災は協議中。

福島…日マ会は結成せず、本会が事務的に中央に協力する。郡山市に養成所が設立されようとしたがツブした。仙台の財界人が二十一億の巨額を会津若松市に持ち込み、センターを建ててその中に鍼灸専門部を置くという計画あり。学術講習会の開催、会報の充実、奉仕活動（助成金を得ている）。労災は協議中、健保取り扱いに就いても研究中。

宮城…現在会員は二八五名、全員全鍼師会に登録ガラス張りである。奉仕活動・学術講習会（県を南・中央・北の三つに分けて行なう）。東鍼連主催の学術講習会の開催、日マ会は絶対反対であるので結成せず、これは本会の組織を守るためである。組織が乱されるようなことが起れば、どんな問題でも反対してゆく。

このあと山形より、「医師の同意書不要で三療の施術費給付について」が提案された。

提案要旨…現在行なわれている「福岡方式」を採用する。即ち国民健康保険第八十二条の二項を活用することである。二項とは「保険者前項の保険給付の外、条例または規約の定める処により傷病手当金の支給、その他の保険給付を行なう事が出来る」。この「その他」の項を各市町村が活用して条例を作ることにより、被保険者が健康増進、疾病予防と言うことで鍼灸を施術出来るという、これが福岡方式である。これを実施するには可成りの歳月を要すると思うが、各県師会とも実施のために努力して欲しい。ちなみに福岡の場合の料金は、鍼が一回 1,100 円で被保険者が 330 円を負担、残りの 770 円を国保が負担している。賛成可決。

次に、秋田県で五十八年度の総会を開催することを決定し、役員を川村会長の留任、秋田・青森の師会長が副会長となり、山形・岩手・福島の各師会長が監事となった。これにて議事終了し閉会の辞となった。10分の休憩のあと、全鍼師会副会長の阪本佳二氏が「業界の時事問題・特に労災保険協定」と題して、約40分ほど講演したが、あす、東京都が労災協定の調印があるので今日中に帰京せねばと言うことで、十分な話が出来なかった。講演は、全鍼師会が法人格を得て会館が建設されたこと、日マ会の結成により千数百人の会員が減少したが、会費は結成以来始めて完納された。また、早稲田専門（鍼灸）学校問題で会員に迷惑を掛けたことを詫び、全鍼師会の役員間の団結には何等の乱れもない、労災

- 10 -

協定が成立したことは喜ばしい、鍼灸マ師の業が今、親の仕事の後継する子供たちが多くなっている。これは三療が魅力ある職業であるからであり前途は明るい。健保の実施が遅れているのは遺憾であるが、労災の協定により一歩前進した。

技療師法に高卒以上と言うのがある。医療に携わる者はほとんど高卒である。

吾業もそうあるべきだ。医療課程を経ぬ療術師やカイロを、小坂善太郎代議士が中心になり多数の政治家が議員立法という形でこれを法制化しようとしている。政治家としてこの

行為は余りあることである。吾々は断固としてこれを粉碎せねばならない。日鍼会に協力を求めたが、日鍼会は鍼灸だけが守られればよいと言う考えから非協力的である。会費を今後値上げして活動せよとの質問に対しては現行のままで充分行動が出来る。全鍼師会の収入は四千万円、日鍼会は一億円である。従って日鍼会は政治力が大である。吾方は政治力に弱い、政治には金が掛かる、その節には会費の値上げをお願いし度いと結び講演は終わった。

終了後、阪本氏に将棋の駒が贈呈された。終了午後五時、七時より宴会、翌朝九時過ぎ散会、帰路につく、此の日雨降りとなる。



講演する坂本全鍼師会副会長、左隣は川村会長

## 岩手県保険鍼灸マッサージ師会 五七年度の動き

岩保会については、昨年八月に会報第三号が発行され、労災協定締結特集号としたため、未加入会員に洩れなく差上げ、既にご承知の事と存じますので報告を割愛しますが、昭和五十七年六月二十八日に岩保会と労基局との間で協定が成立調印されています事も既に御承知と思いますが、協定書の全文を重要なので掲載します。

なお、七月末には「労災保険指名施術所指名の申請書」が岩保会員分は労基局に提出されたが、八月末に認可になり実施されていますが、筆者の治療院には、まだ一人も該当の患者の来院はありません。

なお、岩保会の会員数は八十八名です（岩手県鍼灸師会四十三名・県鍼按師会五十五名）

- 11 -

注・県鍼按師会と岩手鍼灸師会の両師会の会員となっている方が四名あり、この方々の分は岩手鍼灸師会の方の数に入っています。

日保連速報

二月一日より「老人保険法」が実施されることになり、はり・きゅう・マッサージが老人医療費の支給を受ける事が出来る様になりましたが詳細については不明なので、今後の情報をご期待下さい。

## 協 定 書

労働者災害補償保険法（昭和二十二年法律第五〇号。以下「労災保険法」という。）第十三条に規定する療養補償給付（労災保険法第二十二條第二項の規定によって準用する療養給付を含む。以下「療養（補

償) 給付という。) に関し、はり・きゅう及びマッサージの施術に係る同条第三項の規定による療養の費用の取扱いについて、労働基準局長(以下「甲」という。)と岩手県保険鍼灸マッサージ師会会長(以下「乙」という。)との間に次のとおり協定する。

第1条 岩手県保険鍼灸マッサージ師会の会員(以下「会員」という。)は、療養(補償)給付を受ける労働者(以下「被災労働者」という。)から施術を求められたとき、被災労働者の提出するはり・きゅう診断書又はマッサージ診断書によって施術を行うものとする。

第2条 療養(補償)給付たる療養の費用の額の算定基準は、別紙の施術料金算定基準のとおりとし、会員はこの算定基準によって算定した額以上の額を被災労働者又は事業主より領収しないものとする。

第3条 療養(補償)給付たる療養の費用の支払いについては、甲は指名施術所に限り受任者払いを認める。

第4条 指名施術所は、会員たる施術所の開設者からの申請に基づき甲が指名する。

第5条 指名施術所の開設者が会員でなくなったとき及び次の各号の一つに該当するときは、甲は指名施術所の指名を取り消す。

1 施術に要した費用の請求に関し不正があったとき。

2 関係法令に違反したとき。

3 本協定に違反したとき。

なお、前各号に該当するものについては甲は指名取消に関する乙の意見を求めるものとする。

第6条 会員は被災労働者に係る施術内容等については甲が定めた施術録等に記録し、その他の施術録と区別して、完結の日から三年間保有するものとする。

第7条 本協定の改訂及び廃止に関しては、甲乙協議しなければならないものとする。

- 12 -

附 則 1 本協定の発効の日は 昭和五十七年七月一日とする。

2 本協定の発効を証するため、正本二通を作成し、甲乙双方記名調印して各自一通所持するものとする。

昭和五十七年六月二十八日

甲 岩手労働基準局長 村田 昭三 印

乙 岩手県保険鍼灸マッサージ師会会長 三浦 一良 印

… レポート …

## 日本東洋医学系物理療法学会 第八回学術大会・東京大会に参加して

副理事長 越本政男

昭和57年10月30日・31日の二日間にわたり日東医学会・東京大会が、国電有楽町駅前にあるデパート「そごう」七階の読売ホールで開催された。この大会には私と三枚堂トシさんの二人が本会より参加した。大会には全国より六百余名が参加、開会式には鈴木東京都知事(本人が来席)、また全鍼師会顧問の鯨岡兵輔代議士などが来賓として出席・祝辞を述べた。

今回の学会のテーマは「心身医学と鍼灸マッサージ」で、此の大会の特色は中国より二名の特別講師

を招待したことである。此の二名の特別講師は、北京広安門医院・鍼灸科主任で中国鍼灸学会員・李志明（り・しめい）医師と遼寧（りょう・ねい）中医学院生理教研室副主任、張月英（ちょう・げつえい）医師（元千葉大学第二内科研修生）で、二人は一日に二百人近い臨床患者を診療しているとか。

講演は「中国医学における鍼および推拿（すいな）の占める位置と中国の保健機構」と題して、約二時間四〇分に亘って臨床実技等も披露しながらの熱演であった。

張月英先生が連れて来た患者（40才の男性）をステージに招き、椅子に座らせて李志明先生が鍼の実技を行なった。（鍼の太さは28番から30番までのものを用い、長さは一寸から二寸「中国の寸法」）

此の患者は視神経萎縮による失明で一ヶ月を経過した時期に鍼治療を行ない10年を経過している。使用経穴は「風池」・「合谷」・「内関」・「レイ溝」・「光明」で、此の患者に75回の治療を行った結果、右0.6左0.4までに回復し、10年経過した現在も視力に変化はない。此の治療法は「風池」・「合谷」・「内関」・「レイ溝」等に刺鍼した際に「響」と「熱感」が眼に達しなければ著効を得られないが、此の患者は右記の結穴に刺鍼した際に「響」や「熱感」が良く感じられた。なお統計的に見ると「風池」穴に刺鍼した際、眼中に「響」や「熱感」が伝わったものでは85%、頭頂まで達したものでは60%。全く「響」

- 13 -

や「熱感」の感じないものでも40%のそれぞれの効果が見られた。足の「光明」穴を取穴する際「ものさし」が使用された。また、中国では五十肩の治療は患部に灸頭鍼が用いられている。

注・推拿（すいな）とは中国式現代按摩のこと。

なお、31日午後1時30分より開かれた総会で、58年度の学術大会は神奈川県で開催されることになった。宿泊したホテルは、池袋にある有名なノッポビル、サンシャインシティ・プリンスホテルの23階で和歌山盲学校の先生と同室となったが、外部の音が全く聞こえず静寂そのもので山奥の山荘にでも居るようで騒音に馴らされている私には不気味で、ホテルニュージャパンの火災を思い出して些か恐怖を感じた。11月16日の国鉄ダイヤ改正で、長年岩手県民が親しんできたブルートレインの「北星」が姿を消したが、東京への往復に乗車した「北星」の乗りおさめとなった。

滞在の三日間、東京は初夏の如き陽気で、スリーピースのベストが邪魔になった。

## 学術講習会

五十七年度も岩手県盲人福祉協会と県鍼灸師会と共催で十月十六日（土）午後一時から、十七日（日）午前九時から午後三時までの二日間、盛岡市若園町、盛岡市総合福祉センターに於いて、昨年に引き続き元筑波大学附属盲学校教諭鈴木達司先生をお招きして、鍼灸マッサージの理論と実技について講義をいただいた。受講者も多数出席した。

第一日目は、頸肩腕症候群および頸椎症に関する理論と診断についてで、ジャクソンテ



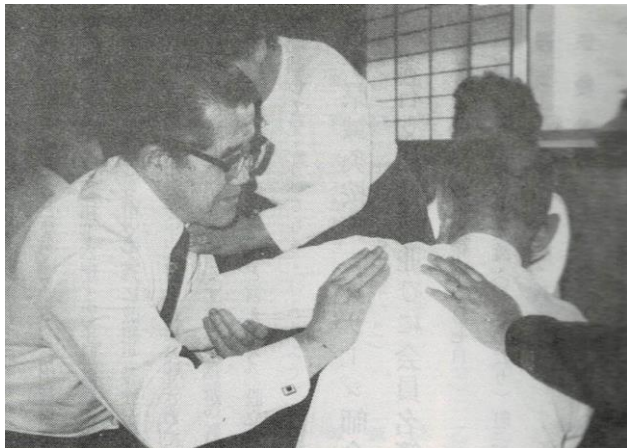
鈴木先生の講演を聴く会員

- 14 -

スト、アドソントテストなどの実技指導を受けた。

第二日目は、午前中に腰痛に関する臨床理論とモデルを使っての鍼灸の臨床実技が披露された。

午後は日本間に会場を移して、患者に行わせる各種の運動法等を手取り足取りしての温かい指導を頂いた。



実地指導をする鈴木先生

## 全鍼師会 情報

全鍼師会では「所得補償共済制度」を九月十八日の理事会で承認発足させました。此の制度は吾々三療業界人が病気やケガで、休業した時の休業補償制度で月額二、〇〇〇円で、A型B型の二種に分けられ、病気やケガで入院（自宅療養も可）安静等により休業した場合、一年間を限度に月額二〇〇、〇〇〇円まで休業補償金が支払われるものです。なおA型は休業補償のみ、B型は休業補償・死亡一時金・災害による後遺障害一時金がセットになっています。いずれも掛金は二、〇〇〇円です。ABの二種とも契約できます。健康診断は必要ありません。申込みの際は「A」または「B」の二つを組合せの時は「AB」と申込んで下さい。なお、お休み期間のうち七日間（免責期間）は補償の対象から除かれます。

詳細は、日本鍼灸マッサージ新聞十一月一〇日号をご覧ください。また全鍼師会情報として皆様の御手許に届くと思います。

## 釜石師会・三〇年の歩み

（故芳賀美千保氏の霊前に捧ぐ）

釜石師会会長 越本政男

釜石師会も岩手県鍼灸師会傘下の各師会に劣らぬ歴史を持っている。しかし不幸なことに釜石は第二

- 15 -

次大戦末期の昭和二十年八月の敗戦直前に二度に亘る艦砲射撃により街の大部分が破壊され犠牲となった業者もあり、また殆どの業者が罹災前に釜石を離れて居り、釜石師会は戦時から戦後の四・五年の間空白となっている。石川理事長所蔵の県鍼聯創立当時の要覧によると、昭和十六年・岩手県鍼聯創立に先立って、県下の各師会が傘下となる可く一斉に改組や設立が行なわれている。

釜石師会も昭和十六年十二月七日に設立されている。釜石には古老も既に亡く、戦前の業界を知るすべもないが、設立当時の記録だけでも要覧に見つけた事は貴重と言えよう。設立当時の釜石師会の陣容を記載して見よう。



芳賀美千保氏

# 岩手県鍼灸按・マッサージ師会联合会 釜石支部役員並びに会員名簿

設立年月日 昭和十六年十二月七日

事務所 釜石市大渡（おおわたり）町三丁目  
紺野茂八方

## 役員名簿

会 長 紺野茂八（こんの・もはち）  
副会長 村松理助（むらまつ・りすけ）  
幹 事 佐藤一二（釜石警察署・衛生主任・さとう・かずじと読むのか、いちじと読ませるのか不明）  
会計・庶務・配給 漆原勝衛（うるしばら・かつえ）  
配給補助 菊地孝進（きくち・こうしん）  
評議員 村松理助  
評議員 磯田西松（いそだ・とりまつ）  
評議員 山本六左衛門（やまもと・ろくぎえもん）  
評議員 達谷窟縫子（たがや・ぬいこ）  
联合会評議員 野田得三（のだ・とくぞう）  
顧問・釜石警察署長 佐々木健吉（ささき・けんきち）

## 会員名簿

氏 名	(ふりがな)	所有の免許の種類
紺野茂八	(こんの・もはち)	鍼・灸・マ・乙按
漆原勝衛	(うるしばら・かつえ)	鍼・灸
菊地孝進	(きくち・こうしん)	鍼・灸・マ・乙按
村松理助	(むらまつ・りすけ)	鍼・灸・マ・乙按
菊池鶴野	(きくち・つるの)	鍼
山本六左衛門	(やまもと・ろくぎえもん)	乙按
磯田西松	(いそだ・とりまつ)	乙按
岩崎喜福	(いわさき・きふく)	乙按

- 16 -

菊池久三	(きくち・きゅうぞう)	乙按
梅木八太郎	(うめき・はちたろう)	乙按
鈴木花蔵	(すずき・はなぞう)	乙按
高橋喜代松	(たかはし・きよまつ)	乙按
野田得三	(のだ・とくぞう)	鍼・灸・マ・乙按
達谷窟縫子	(たがや・ぬいこ)	鍼・灸
川崎利吉	(かわさき・りきち)	鍼・灸・マ・乙按
佐々木信良	(ささき・しんりょう)	乙按

以 上

(解説)

この当時は私たちの業務は警察の管轄下にあった。次に、免許の種類の中に、乙按（おつあん）となっているのは、乙種按摩術の事で、乙按は修業年限が二年で、盲人に限って与へられたものである。

また之に対して甲按（こうあん）即ち甲種按摩術がある、これは終業年限が四年で晴眼者に与えられた。

次に、マとあるのは、マッサージ術のことである。マッサージは西洋式按摩と言うことで、修業年数を四年した者に与えられた。戦後マッカーサー旋風後の法改正でマッサージの名称は消えて按摩師免許となったが、法改正以前は「…術」と言う名称が付けられていた。

(注) 佐々木信良氏は現在・鍼・灸・按の三療の免許を所持している。

私は昭和二十五年三月に釜石市民となった。十九歳の若さで土地柄も業界も業そのものも全く無知なままで開業した。此の年に赤崎大蔵（あかざき・だいぞう）氏（現在・大槌町（おおづちまち）で営業・岩手県鍼灸師会副会長）、川崎利吉（りきち）氏（現在只越町（ただこえちょう）三丁目）で営業・無所属）等の手によって岩手県鍼連釜石支会が設立されたが、翌二十六年に、日鍼会が設立され、会長の赤崎氏が同会に去った為、リーダーを失った此の会はアッケなく分解した。私も会員であったが生活難から会費を滞納したままとなった。川崎氏は以来業界から去ったままである。

私は昭和二十七年に「辺び」な処から繁華街に移転した。此の頃、芳賀美千保（はが・みちほ）氏・村上誠弥（せいや）氏も開業している。芳賀・村上・私の三人とも、住宅難で下宿生活をしながらの営業だった。此の当時の釜石は、按摩は隠居がするもので、贅沢なもの、鍼は痛そうで怖いものと言う時代で、啓蒙から始めねばならなかった。此の三人は夜ともなれば盛り場などを流し按摩をした。この頃中妻（なかづま）に梅木と言う老業者が居て流し按摩を専業としていた。しかし灸の方は市民の間に大いに理解されていて、現在の只越町（ただこえちょう）三丁目（繁華街）に福島出身の牧野清と言う業者が灸専門を営業、大繁昌して居た。しかし彼は個性が強すぎて若い業者には受入れられず組織人にはなれなかった。中妻（なかづま）地区には戦前から鍼灸専門を営業している晴眼者の小黒沢精司（おぐろさわ・せいじ）氏が居た。彼は赤崎・川崎両氏が開いた会には参加せず静観していたが、芳賀・村

- 17 -

上両氏らと諮って此の年の十一月九日に釜石師会を創立した。初代会長には小黒沢氏が、副会長には菊池誠悦（せいえつ）氏が、幹事には芳賀氏があたり次のような会員によって船出した。牧野清・村上誠弥（せいや）梅木八太郎・高田美枝・佐々木信良・松田トヨ・岩間悟郎・照井博・越本政男の十二名であった。（当時私が最年少であった）私の不注意から引越しの際に設立当初から昭和三十五年頃までの資料を紛失、記憶のみに頼るしかないが、会費は月額三十円で、当時の全身按摩の料金は百円だったと思う。

しかし、小黒沢氏は翌二十八年の秋頃には会長を突如辞任し、そして間もなく師会からも去った。彼の会長辞任と更に脱会の真相は不明のままである。彼はその後昭和四十六年五月、私に自宅を譲渡し、埼玉県上尾（あげお）市に去るまでの間、業界とは全く孤立無縁・釜石師会員とも没交渉のまま昭和四十七年五月観光旅行途中に倒れ他界した。

昭和二十八年秋に芳賀氏が第二代会長に就任した。私も此の時点から幹事として、芳賀氏が急逝するまで女房役を勤めた。第二代芳賀会長就任によって釜石師会は始動した。先ず当時バラバラであった治療料金の協定・県鍼連への加盟・再教育講習会の実施等・次と手を打ち、リーダーとしての非凡な力量の片鱗をうかがわせた。

昭和二十九年度の県鍼連総会が北上市消防会館で行なわれ、釜石師会から初めて、会長と代議員を送った。実に戦後九年目にして漸く県業界の舞台に登場したことになる。爾後芳賀氏は急逝するまで、県



鍼連の理事会や総会に一度も欠席することなく正論を吐露し続けた。

昭和三十一年には釜石師会は県鍼連の総会を引き受け旧商工会議所で開催した。これによって釜石師会の存在が県業界に認められた。芳賀会長就任後、間もなく牧野・菊池の両氏が脱会した。このため一時独身集団となった。独身と言う気楽さもあって何や彼やと理由をこさえては集まり良く飲んだものだった。

昭和二十九年には飯田直志氏夫妻が開業と同時に入会し、間もなく会の中枢の一人となり、芳賀氏と二人して毎年治療料金の相場作りを行なって来た。現在釜石に於ける治療料金は、ほぼ全国水準に近い。これは二人の功績と言えよう。芳賀氏の会長就任当時、釜石市内には無免許無資格業者が散在していた。これらの掃滅に付いても芳賀会長は保健所に日参して可成りの成果を挙げた。此の中には検挙され罰金刑を受けた者もあった。芳賀氏は業界が絡んだ選挙には積極的に活動した。彼は自民党員となり業界を憂うの余り、つい熱心になり過ぎて警察の捜索を受けそうになった事もあった。

三十年代に入ると開業する業者がボツボツと出来てきて入会した。

昭和三十六年度には十六名を数えたが、これがピークで企業城下町の低迷と共に、会員数も減少し現在は設立当時の十二名と同数となっている。

昭和三十八年四月二十一日、今は既に取り壊された市公民館（戦災後の市役所の跡を公民館として使用した）で下杉定人（しもすぎ・さだと）保健所長と係員を来賓として認き、創立十周年の祝賀式典を

- 18 -

挙行した。此の式典で岩間・照井・越本トヨの三名が表彰された。なお此の日、県鍼連理事と重なり、要人の来席を得られなかった。この式典の記念品として陶器の灰皿を作った処、どう言う手違いがあったのかは分からぬが「創立五十周年」と金文字が入っていた。

昭和四十年代に入る頃から、近隣、主として宮古師会との交友を深めようと言うことで、四十年は山田で、四十一年は浪板で宮古師会と合同でレクリエーションを行った。



宮古・釜石両師会合同レクリエーション・山田ヘルスセンター前にて（昭和40年10月10日 野沢孝一氏提供）

四十五年には釜石市を主会場として行われた

夏の岩手国体歓迎の団体として、実行委員会よりの呼びかけに応じ参加、感謝状が釜石師会に授与された。このように釜石師会も、漸く内外に其の存在が認められる処となったが、昭和五十年五月二十一日早朝芳賀会長は心筋梗塞のため急逝した、享年四十八歳であった。彼は晩年・新日鉄釜石製鉄所病院勤務と営業を両立させて居た。此のエネルギーで俊才なリーダーを失なった釜石師会員の衝撃は大きかった。彼の葬儀はカトリック教会で行なわれ、県下より多数の業友が参列し彼の死を悼んだ。私は此の時、弔辞と言うものを読んだが途中で涙が溢れて来て、やっとの思いで読み終えた（二度と弔辞など読みたくない）。

芳賀会長急逝のあと私が第三代会長となった。昭和五十五・五十六年の総会を花巻市の温泉旅館で開催した。また、昭和五十七年五月八日には大槌町の浪板観光ホテルに於いて県鍼按師会の総会を無事開催することが出来たが、奇しくも此の年は釜石師会創立三十周年にあたり、有意義な行事となった。

私が芳賀氏のあとを受けて会長になってから八年になる。前会長には及びもつかないが何とか今日ま

で務めて来られたのは、芳賀氏が培った良き土壌と親友の岩間悟郎氏が、私の会長就任と同時に県鍼連に加入して呉れて副会長として陰（かげ）に陽（ひ）に補佐して呉れて来た事である。亦、飯田・上田両氏のバックアップと会員諸氏の理解と協力のお蔭であり感謝で一杯である。

次に、曾ては釜石師会の会員であったが転出や色々な理由で脱会された方々で、現在ご活躍されて居

- 19 -

られる業友のお名前を記して見よう。

（敬称略）

菊池誠悦（せいえつ）、小野寺伴二（はんじ）、城代秀雄（きのしろ）、達谷窟縫子（たがや・ぬいこ）、渡部八重（わたなべ・やえ）、瀬川由太郎（せがわ・よしたろう）、留畑真（とめはた・まこと）、菊池長一（ちょういち）、三浦ミエ子、照井博（てるい・ひろし）。

三十年と言う歳月は矢張り長かったのか設立当初より今日まで残っているのは、佐々木信良（しんりょう）岩間悟郎・越本政男・越本トヨの四名のみとなった。そして、六名が黄泉の客となった。

江戸の下町の姐御肌の高田美枝さん、小黒沢氏会長辞任の日、芳賀さんと私の手を握って、組合を育ててゆこうと言ったのに間もなく病気で釜石を去った村上誠弥（せいや）さん、彼は遂に釜石には二度と帰らなかった。

好々爺だった梅木さん、急逝する前夜私と電話で話したのに、その翌朝には昇天してしまった芳賀さん、薩摩琵琶を聞かせて呉れた牧野さん、私たちを途中で見放して、孤独の人となった小黒沢さん、先妻の葬式の際に泣き崩れた蘭賀省吾（らんが・しょうご）さん、スモン病により失明し開業期間より休業期間が長かった菅野昇二（かんの・しょうじ）さん、今は亡き人々が懐かしく、私の脳裡に数々の思い出が去来する。やはり三〇年は長かったのではなく短かったようにも思える。

故人となった会員の冥福を心から祈りつつ筆を置く

昭和五十八年二月十日 記

## 師会だより

### 盛岡師会

総務 内田幸男

五十七年は今まで高速道路に加え新幹線の完成も成り（若干）人口も増えた様ですが、しかし其れが直接われわれの業界に、いい影響を与えているとは必ずしも言えない様に思われます、と申しますのは、いくら立派なホテルが建っても晴眼者を専属にしたり盲人はマナーが良くないとか、「手が」かかるとかの理由で中々仕事をくれません。その上、大多数の人が恩恵を得ていた古くからの旅館は「つぶれる」寸前まで、追込まれていたり既に廃業に踏切ってしまった所も数多くあります。

こんな訳で三療界には全体的にマイナスに感じられて仕方ありません。

七月からは労災保険の適応が認められ、一時は我々も期待めいたものを持ったのでありましたが、結局の所認定を受けている患者は少ないし、仮に治療院に来る患者が多少あったとしても、いろんな制約

- 20 -

と事務処理が繁雑化しているため、現状では取扱えないと言う人が多かった様です。

また、病院のマッサージが診療科目に、復活するであろうと思われて居りましたが、結局審議会では見送りと答申されました。

その様に盛岡の場合は期待がことごとく空しいものになった感じがしてなりません。そのあげくに三年つづきの不作と不況が、重なり大変な時でもあり、三療界にとっては、怖い時代に入って行く様な気がしてなりません。

今こそ我々は地域の特性を見だし、何をどの様にして行けば会員の利益を計って行くことが出来るのかという事と、みんな仲良く生きて行ける共存共栄の出来る道を探すべく大いに話合わねばならない時である様に思われてなりません、皆様は如何お考えになって居られるでしょうか。

さて、今年度の当師会としての大きな事業は、十二月四・五の両日にわたり「つなぎ温泉」の湖山荘を借り切って忘年会を行ったことが挙げられると思います。

主催である事業部の上田・三原両君のいろんなアイデアで雰囲気も盛り上がり、カラオケのマイクの争奪戦があつたり、中年、老年入り乱れての楽しい冗談の飛ばし合い、更に宴会後のそれぞれの部屋での近況報告やら「昔話」、はては将来の夢物語を話は尽きずに夜が明けた所もあつた様でした。

さて、大切な誌面を借りて感想をまじえながら、当師会の近況を記させて頂きました。

今年こそ良い年になる様お互いに頑張り合いたいと望んで居ります。

## 花巻師会

## 広報部

我が岩手は新幹線ブーム、政界には波乱のあつた一九八二年も暖冬のうちに暮れようとしています。

各師会の皆様には御健勝で御活躍の一年であつたことと拝察致して居ります。

さて、当花巻師会の一年を振り返って御一報申し上げます。

- 21 -

花の便りも北上しつつある四月中旬、花巻師会創立四十周年記念式典を、本部、来賓各位の御出席を頂き、花巻温泉「千秋閣」に於いて盛大に行ないました。先輩諸氏の業績に感慨を新たに閉会しました。

花巻市根岸老人ホーム「花巻荘」の隣に完成した在宅身障者リハビリテーション「デーサービス」に福祉事務所の要請により、毎週火・木の両日、我が業会から一名ずつ派遣し奉仕活動を続けて居ります。

六月上旬には、年中行事の老人ホーム訪問をして、職員を含む五十数名の方々に治療奉仕を行なっています。

八月末日には、平泉中尊寺にレクリエーションに出かけました。樹令百年以上と思われる老杉を手で確かめ、汗をぬぐいながら月見坂を上りました。金色堂の解説に耳を傾け、観光客のぎわめきに平泉八百五十年の文化を肌感じて有意義な一日を過しました。

来年は亥年「猪突猛進」の意気で業会発展の為お互いに頑張りましょう！



創立 40 周年祝賀式典で挨拶する多田会長

## 北上・和賀師会

会長 南川 忠

東北新幹線も六月に開通したらと内心期待を掛けて待っていたら一向に变りのないのに、がっかりしました。また今年も冷害・不景気等で中々思う様に仕事がありません。

さて、当師会も創立四十周年を迎え、四月に四十周年式典並びに祝賀会を盛大に開催しました。会員も十四名、それに来賓に、菅野先生、県副理事長渋谷先生、花巻師会長多田兼雄氏、元会員杉沢氏の四名、それに付添い数名で行われました。

創立以来、会員の育成と職務を讃え、表彰状を贈り、また高令会員の阿部新次郎、阿部ノブ、石川キミヨ氏等にも永年会員として表彰状を贈りました。

また、来賓の諸先生方のお祝いのお言葉を頂き、式典は無事終り、その後、祝賀会に入り、それぞれ四十年の思い出話に時間のたつのも忘れて夢中でした。

また、次第にお酒も回り、どこからともなく歌が出て、先生方もお得意の喉を披露し拍手喝采でした。

この日は、我が師会の思い出の一頁に残る事と思います。

老人ホーム慰問マッサージ、六月二日老人ホーム北星荘、九月十日は特別養護老人ホーム恵愛園の施設を慰問いたしました。今年も湯田町役場から福祉バスをお願いして実施いたしました。

終了後、食事と共に反省会をして喉のかわきに一杯飲んで解散いたしました。

新築のお知らせです。白藤徳子氏が六月三日上棟式をして、九月二十三日頃に引越しをいたしました。

- 22 -

新住所 北上市飯豊町字藤沢第二十一地割一〇九一四

「休職」高橋辰雄氏・大分良い様ですが、まだ本調子でないとの事で本年も休職です。

外の会員は無事元気で仕事に専念し頑張っています。

また今年も冷害と不景気に負けぬ様新年会を計画中です。

日時、場所等まだ未定です。

では皆さん良いお年を迎え健康で頑張りましょう。

## 胆江師会

会長 菊地安夫

◎ 総会は四月十八日に開催・役職に変更なし。

料金表改正 初検料三百円 鍼灸二千元以上 按摩マッサージ(半身)千五百円以上 按摩マッサージ(全身)二千元以上 往療料・二キロまで六百元 一キロ増す毎に三百円を加算する。

総会の席上では右記の件だけです。

◎ 老人慰問無料治療奉仕 九月五日 見分森(みわけもり) 寿水(じゅすい) 荘 立生(りゅうせい) 苑 (患者数四十五名 会員十七名 時間は午前九時より十二時まで)

◎ 九月五日午後より研修会 講師・高橋等先生 テーマは肩こり体操法について。講師・小沢信男先生・テーマは膝関節症の治療について

◎ 小沢信男先生宅に於いて青年部研修会 テーマは自由課題

◎ 新入会員の紹介 小野田サヨ子 水沢市字表小路(おもてこうじ)十五ノ五

◎ 住所変更 千田節雄(ちだせつお) 新住所 水沢市東大通り三丁目一の二十七

◎ 「おくやみ」 阿部ノブ 八月二十七日朝 心臓疾患により死去 御冥福を御祈り申し上げます。

## 一関師会

会長 北峰忠志

今年度一関師会のおもな要点を御報告致します。

会合は新年会を始めとして春の総会、秋の反省会など三回開きました。

また、研修会も開きました。会員は治験例を出し合って、それを学んだり更に質問したり、大変参考になる研修会でありました。

慰問治療は東山町の老人ホームに二回行いました。夏の慰問の帰りには、東山地内にある幽玄洞を見学し、ふき出した汗をすずめて帰りました。

- 23 -

会員では、小野寺安治さんと阿部哲夫さんが今年から高令者会員になりましたが、まだまだ元気です。

鈴木富夫さんの奥さんが、路上でつまずいて「ひざ」の一部を骨折して、入院しましたが、富夫さんは、しばらくの間不自由な生活をしました。奥さんの存在をあらためて痛感されたでしょう。

当師会では五十九年度県師会総会の会場をお引受して居りますが、およそ二十年ぶりの一関会場ですので当会員は今から張切って居ります。その節は一人でも多く来られます様お待ち致して居ります。

それでは県下の皆さん、ご健康とご発展をお祈りし御報告を終わります。

同封の写真は、一枚は新年会の時の写真です。もう一枚の写真は慰問治療の際のホームの玄関で写した記念写真です。

◎ 慰問治療の月日 七月十一日 東山荘、  
九月五日 東山荘



新年会



老人ホームの玄関前で

会長 中村強真

長い間入院生活をして居られました佐々木栄さんは、十一月二十六日にお亡くなりになりました。

- 24 -

心より御冥福をお祈り致します。

佐々木モモ子さんも非常に体を悪くしているのですが、生きる為に頑張っています。山口泰子さん、奥堂フサ子さんも調子をくずしているのですが、生活防衛のため、やむなく働いています。

外の人達も除々に「しのびよる」老化に負けずと懸命に頑張っている。

## 釜石師会

会長 越本政男

五十七年五月八日開催の県鍼灸師会定期総会には多数の御出席を頂き、御蔭様で盛大に開催することが出来ました。心より会員の皆様に御礼申し上げます。また、左記の方々や師会より過分なる御祝を頂戴いたしました。御厚志の程、厚く御礼申し上げます。

長谷川釜石師会顧問殿、菅野顧問殿、石川理事長殿、渋川副理事長殿、菊地常務理事殿、中村強真理事殿、花巻師会殿、一関師会殿

○ ○

五十八年の新春は暖冬のうちに経過、新日鉄釜鉄ラクビー部は史上初の五連覇を達成、釜石の街はフイバーし、暫しの間不況を忘れたが、二月九日、新日鉄はコークス炉の休止を六月に行うと発表、暖冬なのに釜石は寒くて冷たい鉄冷え冬景色である。新幹線の開通は新幹線偏重ダイヤが実施され、釜石・盛岡間の連絡が全く不便となった。釜石師会の会員は不況にも「めげず」頑張っている。

○ ○

飯田直志氏の令息の芳孝（よしたか）さんが五十七年三月二十七日に結婚されました。釜石師会から役員三名が、また大堂岩盲協理理事長、菅野県鍼灸師会顧問のお二人が招待され、盛大でした。

飯田氏ご夫妻も嬉しそうでした。芳孝さんは海上保安庁の職員で警備船に乗船して居られます。飯田ご夫妻は初孫の誕生を待ちわびていることでしょう。



老人を慰問（五葉寮にて 9月15日）

- 25 -

佐々木至氏の夫人きみ子さんのご病気も順調に回復に向かっている退院も間近いようです。お子さんを抱えての営業は大変なことのようでしたが、もう少しの辛抱のようです。

佐々木至氏は、五十七年の暮に釜石市甲子町（かっしまち）礼ケ口（れいがぐち）に土地つきの家を買求められ、また治療院も移転しました。新住所は次の通りです。

自宅 釜石市甲子町十三地割百十一の九

電話 〇一九三―二五―一八八三番

治療院 釜石市中妻町（なかづまちょう）一丁目十六番三号

電話 〇一九三―二三―八一八一番

以上、会員の近況をお知らせしました。

また、老人治療奉仕は九月十五日の老人の日に、市内鶴住居（うのずまい）にある五葉（ごよう）寮を慰問する。

なお、三月中旬頃に、特別養護老人ホーム清風（せいふう）園を慰問する予定。

それでは会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。今年も何卒よろしく御願ひ申し上げます。

## 全国標準（マッサージ） 施術料金表について

此の料金表は「日本鍼灸マッサージ新聞」十一月十日に掲載されたもので、全日本鍼灸マッサージ師会が全国都道府県業団の協力を得て調査したものです。新聞には約二百七十余の都市や温泉・観光地の自宅料金・出張料金・旅館料金・リベート、比率（%）が表示されて居りますが、紙面の都合で百五十三地区にしぼり旅館料金・リベート・比率を割愛しました。

二百七十余地区より百五十三地区を紹介しますが、全国的に知られた地名を選び、また料金の高い所と低い所を選びました。

例えば、北海道ブロックについては、札幌二、五〇〇円、旭川二、三〇〇円、函館二、〇〇〇円（自宅料金）。また、大阪府では南三、〇〇〇円、住吉二、八〇〇円、豊中三、三〇〇円（自宅料金）等です。

沖縄地区では、離島と言う特殊事情に興味を感じたので全部掲載いたしました。（編集責任者）

- 26 -

## 全国標準（マッサージ） 施術料金表

昭和57年6月現在

			地名	自宅料金（円）	出張料金（円）
北海道ブロック			山形	2,000	2,500
地名	自宅料金（円）	出張料金（円）	上ノ山	1,800	2,000
札幌	2,500	3,000	寒河江	1,800	2,000
旭川	2,300	2,600	酒田	1,800	2,200
函館	2,000	2,300	鶴岡	1,800	2,500
東北ブロック			福島	2,300	2,800
			郡山	2,500	3,000
地名	自宅料金（円）	出張料金（円）	若松	2,000	2,500
青森	2,000	2,500	白河	2,500	2,500
八戸	2,000	2,500	いわき	2,300	2,500
三沢	2,000	3,000	熱海	2,500	2,500
盛岡	2,300	2,600	関東・甲越ブロック		
花巻	2,000	2,500			
北上	2,000	2,300	地名	自宅料金（円）	出張料金（円）
水沢	2,000	2,500	水戸	2,500	2,500
一関	2,000	2,500	大洗	2,500	3,000
釜石	2,000	2,500	宇都宮	2,000	2,500
宮古	1,800	2,300	小山	2,300	2,500
仙台	2,500	2,500	前橋	3,000	3,000
鎌先	2,300	2,300	伊香保	2,700	2,700
鳴子	2,000	2,500	千葉	2,300	2,800
作並	2,000	2,300	銚子	2,900	3,200
松島	2,000	2,500	木更津	2,500	3,000
秋田	2,000	2,500	八重洲	3,000	3,500
十和田	2,000	2,800	新宿	3,000	3,500

男鹿	2,000	2,500	池袋	3,500	4,000
大曲	2,000	2,500	八王子	3,000	3,500
大龍	1,500	2,000	横浜	3,000	3,500

- 27 -

地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	
湯河原	2,600	2,600	近畿ブロック			
強羅	2,800	2,800				
甲府	2,300	2,800		大津	2,800	3,500
身延	2,000	2,500		京都	3,000	3,300
新潟	2,000	2,400		南	3,000	3,400
佐渡	1,700	2,500		住吉	2,800	3,100
北陸ブロック			豊中	3,300	4,300	
			堺	2,500	3,000	
	地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	神戸	2,800	3,100
富山	2,200	2,500	姫路	2,500	2,900	
黒部	2,000	2,500	城崎	2,500	2,900	
金沢	2,500	2,800	奈良	2,300	2,800	
山中	2,800	2,800	天理	2,500	3,000	
福井	2,500	3,000	生駒	2,000	2,500	
芦原	2,500	3,000	和歌山	3,000	3,000	
中部ブロック			白浜	2,800	2,800	
			勝浦	3,000	3,000	
	地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	高野山	3,000	3,000
長野	2,300	2,700	中国ブロック			
上諏訪	2,400	2,700				
飯田	2,800	3,300		地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)
高山	2,500	3,000		鳥取	2,200	2,400
大垣	2,500	3,000		米子	2,500	2,600
静岡	2,250	2,750		松江	2,500	2,800
熱海	3,000	3,000		大社	2,500	2,800
伊東	3,000	3,000		津和野	2,500	3,000
名古屋	3,000	3,500		岡山	2,500	2,600
豊橋	2,500	2,500		倉敷	3,000	3,700
津	2,000	2,500		広島	2,300	2,600
鳥羽	2,000	2,500		福山	2,000	2,500
四日市	2,500	2,800		呉	2,500	3,500

- 28 -



地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)
下関	2,000	2,500	武雄	2,400	2,600
山口	2,000	2,500	伊万里	2,200	2,500
俵山	2,000	2,300	嬉野	2,000	2,500
四国ブロック			長崎	2,000	2,500
			諫早	2,100	2,500
地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	佐世保	2,200	2,800
徳島	2,500	3,000	島原	2,200	2,800
鳴門	2,800	3,000	福江	2,000	2,700
池田	2,500	2,500	熊本	2,300	2,700
高松	3,000	3,000	山鹿	2,000	2,400
丸亀	2,500	2,500	南阿蘇	2,300	2,700
小豆島	2,500	2,500	人吉	1,800	2,300
松山	2,000	2,500	大分	2,000	2,500
道後	2,000	2,500	別府	2,000	2,500
新居浜	2,000	2,500	日田	1,900	2,200
今治	2,000	2,500	宇佐	1,700	1,900
高知	2,500		竹田	2,000	3,200
中村	2,200		宮崎	2,000	2,500
南国	2,200		延岡	1,500	1,800
土佐清水	2,200		日南	2,000	2,500
九州ブロック			鹿児島	2,000	2,500
			霧島	1,800	2,000
地名	自宅料金 (円)	出張料金 (円)	湯之元	1,700	2,000
福岡	2,500	3,000	那覇	2,000	2,500
直方	2,300	2,800	平良	2,000	2,500
久留米	2,000	2,500	石垣	2,000	2,500
北九州	2,300	2,700	糸満	2,000	2,500
船小屋	2,000	2,800	名護	2,000	2,500
佐賀	2,000	2,500	浦添	2,000	2,500
唐津	2,000	2,500			

## 編集後記

今回は会員の皆さんに業界の現状を認識して頂こうという意図で、文芸部門の掲載を割愛して誌面の許す限り五十七年度の業界内外の動きを知って頂くために編集いたしました。依然として中央では確執が続いていますが、吾会だけは団結を崩さず健闘しましょう。阿部ノブさん、佐々木栄さんの御冥福を御祈りいたします。

編集責任者 越本政男

社団法人 岩手県鍼灸按摩マッサージ指圧師会

昭和五十七年度 会報 第十五号

昭和五十八年三月二十五日発行

事務所 〒〇二〇-〇一

岩手県盛岡市高松四丁目十八番二十二号

渋川澄意方

電話 (〇一九六) 六一一四五二一番

事務局 〒〇二〇 岩手県盛岡市北山一丁目一〇番一号

(県立盲学校内) 下佐征昭

発行人 理事長 石川文治

〒〇二三 岩手県水沢市中町一六七

電話 (〇一九七二) 三一五七二二番

編集責任者 副理事長(事業部長) 越本政男

〒〇二六 岩手県釜石市中妻町二丁目一番二六号

電話 (〇一九三) 二三一六四三九番

印刷所 青木印刷

〒〇二六 岩手県釜石市中妻町二丁目四番二五号

電話 (〇一九三) 二三一六六八七番

- 30 -

ヤマキン広告

## 鍼・灸・用具専門店

.....(取扱品目).....

○針及び針灸用具 ○消毒装置 ○電気治療器

○温熱装置 ○治療室開業諸設備 ○物療器具

### ●せんねん灸 (治療院割引価格が有りますJ)

伊 吹—お灸のイメージを—新手軽さで好評	80点入	1,000円
	170点入	2,000円
近 江—画期的なにんにく灸	70点入	1,000円
	150点入	2,000円
八 景—匂いもさわやかなしょうが灸	70点入	1,000円
	150点入	2,000円
竹生島—最も新しいソフトタイプ灸	70点入	1,000円
	150点入	2,000円

## ◆新製品紹介

### ●円皮針 B (スズメッキ) = (円皮針+スズメッキ+絆創膏)

(特長) スズメッキ品は特にイオン効果の大きい円皮針です。

1シート (20本付) 業務用価格(10シート以上)                      1シート    ¥650

### ●サーモフオア (米国製品)

(特長) サーモフオアは空気中の水分を凝固させて水滴を作り、水を使用せずに湿性ホットパックとしてご使用頂ける全く新しい温熱治療器です。

100Vのコンセントに差し込んでいただくだけでですので応診に回診に最適商品です。

(寸法 巾 600×奥行 300mm)

1台定価 ¥39,800円 (綿カバー2枚付)

有限会社 ヤマキン

〒034 青森県十和田市大字相坂字相坂 90

電話 01762-3-9138

郵便振替 (盛岡) 3-597 番